

平成 12 年 11 月 6 日

高野之夫豊島区長

ロシア連邦の未臨界核実験に対し

ウラジーミル・プーチン大統領へ嚴重抗議

ロシア連邦は、ノバヤゼムリヤ島の地下核実験場で 10 月 20 日と同 27 日の 2 回にわたり未臨界核実験を実施したことを発表した。これに対し高野之夫豊島区長は、本日 6 日（月）、ウラジーミル・プーチン大統領に抗議文を送付した。

抗議文は、別紙のとおり。

問合わせ先 総務課長

2000年11月6日

ロシア連邦大統領

ウラジーミル・プーチン 閣下

報道によれば、3日、貴国は、ノバヤゼムリャ島の地下核実験場で今年10月20日と同月27日の2回にわたり未臨界核実験を実施したことを発表いたしました。

私は、9月5日にも、今年に入って5回、昨年9月23日以降計10回の未臨界核実験を行った旨の発表が9月4日になって行われたことに際して、強く抗議し、あわせて一切の核実験の中止を要請したところです。

また、それに先立つ、2月5日にも抗議を行いました。再三に渡る抗議を無視して強行された今回の実験には、強い憤りを覚えます。

貴国は「実験の目的は、核弾頭の保管状態を確認するため」と発表しております。20世紀も残すところ僅かに2か月足らずとなり、核兵器の恐怖を次の世紀までに解消するために最後の努力を重ねていかねばならない、この時点で、あえて今後の使用を示唆するかの発表をしたと考えざるを得ません。

まさに核廃絶と恒久平和を願う世界中の人々の気持ちを逆撫でするものであり、「非核都市宣言」をした自治体である豊島区にとりましては、看過することのできない行為であります。ここにあらためて厳重に抗議いたします。

決して核兵器の悲劇を21世紀に入ってまで繰り返す愚かな選択をしてはなりません。包括的核実験禁止条約（CTBT）の批准の精神にたちかえり、今回の未臨界核実験を貴国の最後の実験とし、二度と実施しないことを重ねて強く要請いたします。

日本国 東京都豊島区長

高野之史